

活気あふれる2日間 「子ども霞が関見学デー」

霞が関の各省庁が様々なブースを用意し、夏休み中の子ども達に広く国の仕事について理解を深めてもらう「子ども霞が関見学デー」が今年も8月7日～8日に開催されました。農林水産省では2日間で延べ7,973人が来場し、過去最高の人手を記録しました。



いろいろなきのこが大集合



原木しいたけの展示



さわって感じて



大盛況の乾しいたけすくい

「この体験を機に、子ども達がきのこをもっと好きになってくれればうれしいです。」
 特用林産物であるきのこをPRするため、「いろいろなきのこにふれてみよう」と題して、原木から生えているしいたけや、菌床で栽培した、まいたけ・ぶなしめじなどを展示し、自由に触れてもらいました。子ども達はきのこが生えている様子に興味津々、親子で顔を見合わせ、本物のな!?と驚きながら、きのこを触っていました。
 乾しいたけを小さなおたまですくう「乾しいたけすくい」では、子ども達は乾しいたけをなるべくたくさんすくおうと奮闘していました。恒例のきのこ総選挙では、普段の食卓に並ぶきのこを思い出しながら、好きなきのこに投票してもらいました。結果は、なめこが今年もトップとなり、2位えのきたけ、3位きくらげとなりました。

きのこにさわったよ!



シミュレーターの操作は真剣そのもの



将来の林業マン!?



林業機械のぬり絵も大人気!



昨年也好評だった、「森林ではたらく機械を動かしてみよう!」のブースでは、今年も、立木の切り倒し(伐採)と一定の長さの丸太への切り揃え(玉切り)作業を行う林業機械「ハーベスタ」の職業訓練用シミュレーターを使った体験イベントを開催し、多くの子ども達が参加してくれました。
 子ども達は、大型ディスプレイの映像を見ながらのバーチャルの機械操作に、初めは四苦八苦していましたが、すぐにコツを掴み、プロさながらの木材生産作業を楽しく体験していました。
 そのほか、林業機械のぬり絵や林業現場の紹介マンガ「林業よススメ」などを通じ、林業への親しみを深めていました。

森林ではたらく機械を動かしてみよう!

環境にやさしい木のストローをつくろう

（株）アキュラホームと連携し、「木のストローをつくろう」ワークショップを開催し、2日間で100名を超える子ども達が木のストローづくりに挑戦しました。

「木のストロー」は、持続的な森林保全と、廃プラスチックによる海洋汚染等の環境問題へのアプローチになればと（株）アキュラホームが取組を進めているものです。森林を整備した際にでてきた間伐材等を厚さ0.15ミリに薄くスライスし、らせん状に巻き上げて作ります。子ども達は、「木のストローって初めて見た！」「夏休みの自由研究でもっといろいろ調べてみたい」と、ストローづくりを楽しんで体験していました。



パネル等を展示し「木のストロー」をご紹介します



（株）アキュラホームと林野庁職員が講師となり、子ども達と一緒に「木のストロー」づくりに取り組みました



全国植樹祭・育樹祭パネル展示

「全国植樹祭、育樹祭って何をやるの？」では、来年春に鳥根県で開催される第71回全国植樹祭、今年12月に沖縄県で開催される第43回全国育樹祭の紹介を行いました。

見学に来てくれた子ども達に、全国植樹祭は終戦直後の荒れた国土を豊かな森林に蘇よみがえらせるための緑化運動の一環として始められたこと、全国育樹祭は継続して森林を守り育てることの大切さを伝えるために始められたことを、パネルを見てもらいながら分かりやすく説明しました。

当たり前にあると思っていた現在の森林が、実は昔の人たちの苦勞によって蘇よみがえった場所が多いことや、その森林をみんなで守っていかなくてはならないという説明に、興味深そうに聞き入ってくれました。また、様々な緑化活動に活躍する緑の少年団についても紹介しました。



パネル展示の様子

